

食と農のまちづくり

有機農業の取り組みがまちづくりにも影響を及ぼし、条例制定

○耕す教育の実践 …… 小学校 農業体験
中学校 農業生産部

○食育・地産地消 …… 学校給食、食育授業

○都市と農村の交流 …… 大学生や都市住民との交流



▲一流シェフによる味覚の授業

学校給食の取り組み

- 町内7小中学校 自校方式で供給
- 学校毎に地場産野菜を提供する組織が活動
- 活動歴は最長で60年
- 有機農家も参加 有機栽培又は農薬を控えた栽培
- 全国学校給食甲子園でも地産地消が評価され特別賞受賞

思いを未来へ ビレッジ宣言

これまで先人が築いてきた有機農業運動への思いを
次代に繋いでいくため、有機農業50周年の節目と
なる2023年11月にオーガニックビレッジ宣言

山形県高島町 オーガニックビレッジ宣言



高島町長
高梨 忠博

高島町は、昭和48年に青年有志により有機農業研究会が発足したことを起点として、半世紀にわたり有機農業運動に取り組んできた歴史があります。この間、安全な食べ物をつくること、本物の食べ物を生み出すための生きた土づくり、自給の回復、環境を守ること、そして農民の自立を柱に活動を継続してきました。また、有機農業はまちづくりにも影響を与え、耕す教育の実践や食と農のまちづくりを進めてきました。

環境問題への関心が高まり、持続可能な農業が求められる今、先駆者の理念を次代に引き継ぎつつ、有機農産物等の学校給食への活用や地産地消、生産の拡大に取組み、有機農業を推進していくことを誓い、オーガニックビレッジを宣言します。



令和5年11月25日